

主催参加者向け

新型コロナウイルス感染症対策 2020年7月

新型コロナウイルス感染症の流行、感染状況の推移、他の自然学校等のガイドラインを受け「おちか島子ども島旅」では下記の対策をした上で、9月連休からのプログラム再開することとしました。参加されるお子様、父母、プログラムに関わるスタッフすべてに共通する「感染拡大予防」のためのガイドラインです。

1. 参加条件（子ども・大人・送迎の保護者・スタッフ）

- ①参加当日を含めて、3日以内に37.5℃以上の発熱、咳、のどの痛み、味覚・嗅覚の不調、倦怠感などの体調不良がない。
- ②開催日の14日以内に日本国外全域への渡航をしていない。
- ③新型コロナウイルス感染症への感染疑いがある人と、開催日の14日以内に接触をしていない。（濃厚接触：一緒に生活、遊ぶ、同じ車に乗る、感染者と同じ空間にいた等）

2. 感染防止対策（個人）

①マスクの着用のルール

- ・集合・解散時、室内での活動、車両や船での移動時、調理等で規定されているときは必ず着用する。
- ・プログラムの集合、解散時には保護者の方にはマスクの着用をお願いする。
- ・マスクは各自で日数分の持参を原則とする。
- ・野外での体を動かす活動時は、熱中症や窒息などのリスクを避けるため原則としてマスクは外す。
- ・体調が悪くマスクをしないといけない場合は、そもそも活動に参加しない。
- ・マスクを一時的に外す場合は、直接置いたり、ポケットに入れず、個別にビニール袋に入れて保管する。（ビニール袋も各自持参）

②手洗い、消毒の徹底

- ・ハンドソープでの手洗い、水道が使えないときは手指の消毒をする。
- 【集合時、施設への入室時、トイレの後、食事・調理の前、症状がある人に触れたとき、解散時】
- ・手洗いの際には、ハンカチを使わず、使い捨てのペーパータオルを利用する。

③事前の体調管理と検温、体調確認

- ・参加時には2週間前からの検温と体調管理をお願いします。2日～1日前に体調等の確認のお電話いたします。
- ・宿泊では1日2回（朝夕）の検温を全員に行う。同時に体調の具合をスタッフが直接確認する。

④感染予防エチケットを身につける（子ども達も身につける）

- ・咳やくしゃみをするときには、マスク、ティッシュ、上着の袖などで覆う。
手で覆うことはせず、手で受け止めた場合はすぐに手洗い、消毒を行う。
- ・咳などをしない場合でも、鼻や口をむやみに手で触らず、触った手で他者や共有物を触らない。

3. 感染防止対策（活動）

- ①日中の活動は「野外での活動」を基本として、就寝時間以外は、野外か風通しを良くした室内などで行う。
- ②野外での遊びや活動時の互いの距離感については制限を設けないが（手をつなぐなど）、上記の適切なタイミングでの手洗いを子ども達にも指導し必ず行うこととする。
- ③シュノーケルマスク、ライフジャケットなどは使い回しせず、使用後は毎日洗浄を行う。（利用するときはテープに名前を書き、自分が利用するものを把握する）
- ④電車・船での移動は席の間隔に注意し、マスクを着用。感染拡大時期は電車での移動を行わない。
- ⑤野外のフィールドに出る場合も「消毒液（手指用アルコール／次亜塩素酸水）」をスタッフが携帯する。

4. 感染防止対策（キャンプ生活）

- ①室内、テントは2箇所以上の通気をして風通しのよい状態を確保。入室前には手洗い・うがいを行う。
- ②コップは設置せず、水分補給は自分の水筒からのみ行う。給水ジャグは1日1回洗浄と消毒を行う。
- ③感染リスクを下げるため食器洗いは熱湯（80℃10分間）に浸す、もしくは、次亜塩素酸ナトリウム（濃度0.05%）液で拭く。水筒も手袋を使い洗うか、持参のペットボトルを使い捨てて使用する。作業後は手指消毒を行う。
- ④調理、配ぜんは、子どもが行う場合でもマスク、手袋を必ず使用し、別途規定のある料理時の適切な衛生管理を行う。大皿から取り分けることはせず、個別の皿で配ぜんをする。（箸も使いまわしをせずに、名前を書くなどわかるようにする）
- ⑤食事前に手指消毒を行い、天気良ければ野外のビニールシートの上で、室内でも長机を設置し、出来るだけ対面での食事としないようにする。

5. 感染防止対策（施設・室内）

- ①室内、テントは2箇所以上の窓や換気口を開け、風通しのよい状態を確保する。
- ②室内に入る場合には、毎回必ず手洗いと消毒を行い、室内では必ずマスクを着用する。
- ③大人数での活動を終えて室内に入る際には、必ず手洗い・うがい・手指消毒を行い感染の持ち込みを予防する。
- ④トイレはマスク、ビニール手袋等の適切な予防具を使用して1日2回清掃をする。

⑤ドアノブなどの室内の複数の人が触れる場所は、1日2回消毒をする。

6. 感染防止対策（人数、開催）

①野外活動においても、活動中の感染リスクを下げるためプログラムの人数は最大でも、宝島キャンプ：40名以下（子ども30名程度、スタッフ10名程度）
島らいふ：30名以下（子ども20名程度、スタッフ10名程度）とし、
小グループにわかれての活動を基本とする。

②すべてのプログラムは、事前の受付を必須とする。参加日の2週間前までに当団
体で規定している感染予防対策など読み、事前の体調確認などを所定の参加登録
書に記入、遅くとも10日前までには提出をしてもらう。開催直前の電話連絡に
よる体調確認を必要とする。

③プログラムへの参加には、保護者の同意を必要とする。

（「参加のしおり」郵送の際に、同意書を同封し当日に提出いただく）